

基本目標5 ともに支えあい、いきいきと暮らせるまち

【基本施策】①地域福祉の充実

②健康づくり・生きがいつくりの推進

③共生協働・コミュニティ活動の推進

年 代	自 由 意 見
10 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護士の労働環境の改善によって生活支援サービスの充実につながると思います。介護士の数を増やすことは本当に難しいですね。小中高生に知ってもらうことからですね。 ● 健康づくりの促進は大切だと思う。 ● 町内会が発展するといいと思う。 ● 健康であることも大事ですが 1 番はコミュニティに参加し、孤独を減らすことだと思います。 ● 高齢者への配慮は大事だと思う。 ● 一人一人の健康や高齢者がもっと住みやすい地域づくりが必要だと思う。 ● 祖母が 1 人になってから常に祖母と確認がとれるわけではないので、支援サービスなどがあると安心だと思う。 ● 生涯学習はとても重要だと思う。 ● 学校に台湾の学校の生徒が来て、海外にも興味を持った。

年 代	自 由 意 見
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ● 移民政策は治安が悪化するのをやめて下さい。英国、ドイツなど他国を見て学んでほしい。多文化共生など無理であり、分断をうみます。 ● 老後生活の窓口の充実。 ● 健康や福祉の部分はかなり整っているのではないかと思う。 ● 病院に健康診断に行った際にスムーズに受診することができた。

年 代	自 由 意 見
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者の介護について、要介護ではないが自分一人では生活がままならない様な高齢者の世話をしている家族へのサポートがあれば周知してほしい。 ● いろんな家庭の形が増えてきた中で、町内会へ入っていないと差別的な目がある。有料でなかったら、もっと加入者がふえると思う。 ● 近所の高齢者さんへ声かけ、見守り、生活支援を細かくされているのを見かけると安心します。私達もご近所の高齢者さんへ声かけをしたりあいさつしたりとコミュニケーションを取りながら過ごしたいです。 ● 体育大学もあるので、スポーツに特化したイベントに参加していきたいです。病院も巻き込んで、健康、スポーツ祭りなども楽しいと思われま。 ● 地域福祉を充実させるためには担い手がないとサービスが崩壊してしまう。担い手の待遇をよくすることが地域福祉の充実に繋がるのでは。 ● なんでもかんでも共生という考えは改めたほうがいいと思う。こちらが共生だと思っても相手がそうだとは限らない。まだ見ぬ共生相手より市民を大切にしてほしい。 ● 施設に入るのに待ち時間が長い。施設を増やすだけだと人員不足や質の良い介護を受けられないので、バランスよく対策して欲しい ● 子供、子育て世代、働き世代、高齢者が生涯を通して学ぶ生涯学習の機会の充実は大切だと思います。広報などをみて様々な活動があるのだな、と思いました。 ● それぞれのコミュニティを持っている人が多く、ご近所との交友関係が保てていれば市のサポートがなくとも成立していくのではと思います。 ● 福祉に関しては、とにかく賃金を上げるなり待遇を改善しないと手がない。まともな人が辞めていくばかり。ここらは過疎地なので在宅にも限度がある。 ● 年寄り向けのサークルはいくらかある気がするので、良いことだと思う。交流は本当に大切。そもそも町内会に入らないとゴミが捨てられないのはおかしい。それこそもう市でどうにかすればいいのと思う。こういうところから近所トラブルが生まれている。 ● 小さい時は周りの大人に話しかけられることで地域ぐるみで守ってるように感じた。 ● 地域にもよるが高齢化が著しい。公共交通機関も乏しいため、タクシー事業支援も含めたタクシーチケット配布の促進は検討できないのか。現状は年間上限5000円と思われるが、月当たりは416円。これでタクシーを利用できないことは鹿屋市民なら自明の理である。若い世代が町内会に入っても古いしきたりに辟易し、壁を感じる場面が多い。 ● 婦人科検診は安くできていいと思う

年 代	自 由 意 見
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ● 子育て支援も大切ですが、高齢者や介護をする人たちへのサポートや支援も増やしてほしい。 ● 近所の高齢の方々は、お互い家を行き来して毎日お互いの様子を見たり話をしている。様子を見ている。見守りは大切です。元気な高齢の方々の集まれる場所があると良い。 ● 国際交流の場はもっと増やしてほしい。 ● 高齢者社会、車の運転ができないと生活が豊かでない。買い物難民は解決してもらいたい。高齢者が所得をもらい、いきいきした町にってもらいたい。 ● 遠からず自分も高齢者になります、どれも重要だと思います。 ● 町内会に入らされる同調圧力がある。市民税を払っているのに町内会に入らないとゴミを出せない圧を感じるので困る。 ● 行政や病院、在宅との連携をどんどん進めて欲しいと思います ● 高齢者の孤立化が進んでいる。町内会は大事で必要だが、年配者の都合の良い形が多く、若い人へは魅力がない。 ● 町内会加入について、半ば強制的な部分がある。ゴミステーションの利用の仕方について、鹿屋市全体でルールを決めてほしい。 ● 福祉に関しては、社会保障費が財源なのでもっと考えていかないと、いくらお金があってもだだと思います。健康や生きがいは、社会性や自己肯定、他者理解な部分なので、必要です。それに触れてない方々へのアプローチも必要です。 ● 共生協働は、さまざまな考えの形なので、今あるそれがベストと感じます。 ● 雇用に関して日本人をまず優遇してほしいです。 ● 子供さんが県内に住んでいたら、親の様子を見に行けますが、県外だとなかなか難しいので、高齢者の声かけや見守りがあれば安心できると思います。親子だけでは、話し合いがうまくいかない場合もあるので、第三者が関わってくださるだけで緩衝材になり、円滑に話し合いも進むと思います。 ● 高齢者の移動支援を早急に検討して欲しい。 ● 町内会に入っている人が損をしている気がする。みんな平等に町内会費を引かれるシステムにして欲しい。 ● 町内会ではなく違う形での共生のコミュニティを作った方が良いと思う。 ● 高齢化が進む中、在宅医療に移行しているため、働ける世代でも介護のために仕事をやめるケースもある。健康生きがいづくりに関しては、個人のやる気次第なので、施設や人材が確保できているのであれば広報活動に力を入れたら良いと思う。共生については、共働きや片親世帯も増えている中で更に町内会の役割もするというのは、今のご時世に合わないと思うが、防犯の観点では必要なことなのかもしれない。

年 代	自 由 意 見
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域福祉の充実は、10 年後自分の環境を考えたなら今からしっかりと強化してほしい。健康づくり・生きがいくりの推進は、少しでも独居老人が元気で、寝たきりにならない様にしてほしい。 ● 包括支援センターや社会福祉協議会、自治会、民生委員などに市はまかせすぎていると思います。 ● 現在は体も動き生活できているが、これから年をとり高齢者となった時のことを考えると不安はある。 ● 鹿屋でも技能実習制度を利用して多くの外国人が増えていると思います。日本語を学ぶ為の交流や勉強会の実施等、市としてできることはないでしょうか。 ● 地域福祉の充実は、支援する側の疲弊が軽くなる取組が必要と思う。健康づくり・生きがいくりの推進は、イベントはそれなりにあると感じるがもっと充実してくれるとうれしい。 共生協働・コミュニティ活動の推進は、町内会の仕組みを考え直す時かと…。 ● 老若男女、全てが平等とは言えない ● とにかく、どういうサービスが受けられるのか、周知が必要。 ● 現状、世話になっている実感が無い。 ● 県民健康センターの使い方が分からないので、周知してほしい。 ● 中高年層の引きこもりの実態把握と対策支援に力を入れてほしい。コミュニティに入っていけない市民の存在は見えなくされています。 ● 高齢者のスキルを活かす雇用推進を進めていただきたい。 ● 老後に安心して暮らせるようにしてほしい。 ● 健診や健康イベント等を通して未病対策や病気の早期発見などの対策を行い、将来的な医療費の削減に努めてほしい。 ● 病院から転院させる際に、高齢者の入所施設が少ない。いつも空きがない。 ● 母が 80 歳ですが認知なく過ごせているので助かります。 ● 特に生活の中で振れる場面がないのでわかりません。

年 代	自 由 意 見
60 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ● 親の介護を最後まで家でやりたいが往診に来てくれる信頼できる病院が近くに無いため不安でたまらない。 ● 高齢者への声掛けは大事だと思います。 ● 町内会で道路作業が毎年あります。あと、何年できるかわかりませんが。 ● 町内会は若い方・夫婦が少ない。ここ10年くらいで町内会に新規入所は1家族のみ。数十人は亡くなっている。財政面では事業をするお金が不足。 ● 町内会に入っていない家庭が多い。入っている人は草払いなどが大変。 ● 町内会の活動が入会する人が少なくなってきたので、持続するのもこれから先は難しくなっていく様な気がする。 ● 地域福祉の充実は、努力して行きたい、が鹿屋市でも幹線沿いと非幹線沿いとでは高齢者との関わりも異ならざるを得ないでしょう。健康づくり・生きがいをづくりの推進は、保健師のマンパワーや検診車もこのまま維持出来るのですか？もっと手軽かつ長期活用できる方法を検討する時期かもと… ● 国際交流とか他文化を知ることは大事ですが、多文化共生社会をうたい日本の文化や習慣などを蔑ろにすることは反対です。 ● 人が増えればいいのではなく、一緒に良い社会を築ける人間が望ましいです。 ● 自分がまだ高齢者ではないため、市が取り組んでいる対策等を身近に感じる事がありません。もう少し年齢が上がればいろいろ考えると思います。

年 代	自 由 意 見
70 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ● 私は母を看ていたが市のサービスには満足し感謝している。くるりんバスを増便すべきである。私も免許証を返納したいが、バスの便数が少ないため手放すことができない。 ● 町内会の入会の有無に拘らず町内会長は年1回位は、町内居住者宅を訪問するなどし、町内会の善さを示すべきだ。顔も見た事も無い。 ● 高齢者の為にも公共施設をまとめて歩いて回れる様に。 ● 高齢者介護に金がかかりすぎる。一人住まいの高齢者が多い。 ● 時に必要以上の声掛けは、その人の性格により迷惑になる時がある。 ● 福祉も充実しているし、指導者もわかるように接して下さいます。もう少し、入り込んだ指導をしてもらってもよいと思います。 ● 当集落も高齢者が50%程、中学生が6名程、町内会が持続できるか心配。 ● 高齢者が増え、見守体制はできているが医療と介護の連携体制は希薄である。 ● 町内会等の組織作りは難しく、減少していく一方です。 ● 今後、免許証返納した場合の医療機関への移動が不安。タクシーなど使用となると年金暮らしでは厳しくなる。 ● 過疎化が進み、町内会長、民生委員の負担が大きい。 ● 健康作りにもう1工夫を。 ● 地域のコミュニケーションの確保が大切だと思う。